

平成 24年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495600072	事業の開始年月日	平成19年11月1日
		指定年月日	平成20年7月1日
法人名	株式会社ジャパンケアサービス		
事業所名	ジャパンケア川崎はるひ野 小規模多機能		
所在地	( 215-0035 ) 川崎市麻生区黒川1328		
サービス種別 定員等	<input checked="" type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	25名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	15名
定員計		5名	
自己評価作成日	平成24年11月17日	評価結果	平成25年1月25日
		市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.jp/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事作りや花壇の手入れなどを通じて、どのような方でもご自宅と同じようにくつろいで過ごしていただくこと。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成24年12月3日	評価機関 評価決定日	平成25年1月18日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

#### <事業所の優れている点>

##### ◇理念の周知徹底

法人の経営理念「使命・行動規範・目指す人材像」「小規模多機能型居宅介護14ヶ条」、エリア目標「地域との交流を再開する」、に加えて事業所の方針「どんな重度な認知症であっても安定した生活が継続して送れるよう支援する」を定めている。

事業所の理念の趣旨は利用者一人ひとりへの個別ケア、自立支援の実践である。新入職員には本社の研修のほかに事業所でのオリエンテーションで説明し日常業務の中で、先輩職員が現場で実地指導して周知徹底している。

#### <事業所が工夫している点>

##### ◇個別ケアの時間の確保

職員が直接ケアを行う時間を増やすため、調理の手間を省いて、食材宅配業者から調理済みの冷蔵食品を購入している。この食品を台所で温めて食卓に提供している。料理の内容や味付けも利用者から好評である。

職員は利用者とレクリエーションや散歩、お話しの時間が増加したため、料理の外部依頼は利用者の日常生活の支援向上になっている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ジャパンケア川崎はるひ野 小規模多機能
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらい
			3. 利用者の1/3くらい
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過させている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の運営方針, 14か条、目標をかかげて月次定例会等で確認しております。経営理念を朝の申し送りにて唱和しております。また事業所独自の方針を立て実践しております。	・法人の経営理念、小規模介護14ヶ条と、事業所の方針を別に定めている。法人理念を職員は名札の裏に入れ首に下げ朝礼で唱和している。 ・入社時に研修で説明し、実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な散歩や、買い物などを通じて地域の方と交流しております。	・自治会に加入して資源ゴミ回収に協力している。 ・近隣の神社の祭礼や、どんと焼きを見物して、地域の人々と交流している。 ・地域包括支援センターの認知症講座開催に協力した。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議などで、地域に向かって発信しております。認知症サポーター研修を包括と共に開催しました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議・避難訓練などをでは、地域・町内・包括の方からご意見をいただき改善に向けて取り組んでおります。	・会議は2か月毎に年6回を定期的に開催している。 ・会議には民生委員、地域包括支援センター職員、管理者が参加している。 ・利用者の状況を説明し、事業所の行事を案内している。	・会議は定期的で開催されているが、参加者を地域住民や事業の知見者、家族、利用者等へ広く拡げて、話し合いを行い、助言や意見をもらってサービス向上に活かしていくことが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に地域包括等を訪問し、また川崎市主催の連絡会にてご意見をいただいております。	・川崎市と麻生区へ空室情報を提供している。川崎市の小規模連絡協議会に参加している。 ・地域包括支援センターに利用者のことで相談に行くことがある。また、認知症サポーター養成講座を共催した。	

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを作り、身体拘束をしないケアに職員全員で取り組んでおります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束や行動を制限する行為を行わない方針を、運営規程に明記している。</li> <li>・マニュアルを制定し、職員には勉強会で周知している。</li> <li>・玄関は日中は開放し事務室不在時は防犯上施錠している。</li> </ul>	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者研修で学んだ高齢者虐待防止法を職員に周知し虐待防止に取り組んでおります。また定例研修などでスタッフに向けて学ぶ機会を設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で学んだ日常生活自立支援事業や成年後見制度などを職員に周知しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には重要事項の説明も含め、ご利用者・ご家族に納得していただけるよう十分説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	連絡帳や定期訪問などの機会を通じてご意見を伺い、反映させております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時に連絡帳に記入して家族等と情報や意見交換を行っている。</li> <li>・毎月ケアマネージャーが家庭訪問して、最近の状況を打ち合わせし、意見や希望を聞いている。</li> </ul>	

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の提案箱を設け、運営に生かしております。また適宜面談を実施しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は定期的な会議のほかに日常的によく話し合っている。</li> <li>・月1回のミーティングで職員は意見や提案を言う機会があり、必要なものは都度採り入れている。</li> <li>・個人面談でも年4回、要望を聞いている。</li> </ul>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	適宜、職場環境・条件の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	川崎市の認知症の研修や社内研修・社外研修を管理者はじめスタッフも受けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	事業者連絡協議会への参加を通じて取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談等を通じて、本人・ご家族のニーズを把握するよう努めております。		

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始当初は特に関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談等を通じて、本人・ご家族のニーズを把握するよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	庭仕事、家事などを通じて協同して作業することにより、信頼される関係作りを築けるように各々努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族・事業所・ご利用者様が共に支えあって支援できるよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り関係性を継続できるように努めております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人や知人が訪ねて来てフロアや相談室で歓談している。お茶でもてなし関係継続の支援をしている。</li> <li>・電話の取次ぎもして、関係が途切れないよう努めている。</li> </ul>	

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様どうしが共に取り組めるようなプログラムをご利用者たちが相談しプログラムを作成しております。スタッフはご利用者が主体的に取り組めるように支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関係機関と共に、相談・支援に努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしく生活できるように検討し支援しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の生活の中で、思いや意向を聞き取るように努めている。</li> <li>・情報はカードックスに記入して職員間で共有している。</li> <li>・現在は意向の把握が困難な利用者はいない。</li> </ul>	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談等を通じて、また、初期サービスの段階で把握できるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	事前面談・初期サービスの段階で把握できるように努めております。		

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や必要に応じて職員間で話し合い、介護計画を作成しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月ケアマネージャーが自宅を訪問して、モニタリングをし、利用者、家族の希望を確認している。</li> <li>・管理者、計画作成者、関係者で達成度を評価し計画を修正している。6か月毎または変化時に見直しをしている。</li> </ul>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録・申し送り等の情報を共有し、介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	臨時利用・時間の変更等、可能な限り対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	協力機関と共に支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族・ご利用者様の意向を受け可能な限り対応しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの主治医は緊急連絡先に記入し、適切な受診ができるよう支援している。</li> <li>・受診日と利用日が重なる時または緊急時は職員が通院介助している。</li> </ul>	



ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個人記録・申し送り等の情報を共有し、連絡帳や直接連絡するなどして連携しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的なお見舞い等を通じて関係づくりを行っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人・ご家族とよく話し合い、取り組んでおります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化や終末期の対応に関する事業所の方針は、主治医の意向によるが、事業所としての能力が許す限り、看取りまで行うことにしている。</li> <li>・利用者、家族の意向を把握するよう話し合いを重ねている。</li> </ul>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルに沿って行動できるよう研修を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を通じて、地域との協力体制を築いております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は年間2回、内1回は消防署が立会い、夜間想定も1回実施している。</li> <li>・近隣の方も参加し、役割をお願いしている。</li> <li>・非常用の食料、水を3日分と簡易トイレ、発電機などを用意している。</li> </ul>	

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇などの研修を通じて対応しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイ等を使った研修をして、利用者の人格を尊重した対応に気を付けている。</li> <li>・個人情報に記載してある書類は鍵のかかる書庫に収納し、職員は守秘義務を厳守している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り、ご利用者様本人の意向を尊重し、また自己決定できるように働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の予定にとらわれず、支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来る限り、その人らしいおしゃれができるよう支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・配膳・かた付けは職員・ご利用者様が協力して行っております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材は業者により配達され、治療食（糖尿病等）も用意できるようになっている。庭に植えたジャガイモ等の野菜を汁物の具に利用している。</li> <li>・食事の後の片付けは、利用者も手伝っている。</li> </ul>	

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとり食べる量・形態等を考慮して支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを支援しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの生活習慣を考慮した上で支援しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立している利用者がほとんどで、声掛け誘導の支援をしている。</li> <li>・水分チェックは全員記録しているが、排泄チェックは必要な利用者のみ記録している。</li> </ul>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	必要な水分量を摂っていただく等、取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴剤や菖蒲、ゆずなどで季節感を出したり、出来る限りご希望に沿って支援しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気のすまない利用者にも週2回の入浴をしてもらうよう、時間帯を変えたり入浴剤やしょうぶ湯・ゆず湯などの工夫をしている。</li> <li>・寝台浴の浴槽もあり、利用者の状態により選べるようになっている。</li> </ul>	

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を考慮した上で支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員間で服薬の情報を共有し、二重三重のチェックを行い、確認しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合わせたプログラム等、支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節の行事等、また日々の散歩などを通じて支援しております。	・利用者の希望により、日々の散歩や買い物に付き添っている。 ・近くの神社や地域包括支援センターの祭りに出かけたり、町田市の薬師池公園にドライブに行ったりしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりに応じて対応；支援しております。		

ジャパンケア川崎はるひ野

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一人ひとりに応じて対応；支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間はご利用者が落ち着いて過ごせるよう配慮しております。また季節の花を飾るなどして工夫しております。	・広々としたリビングは日当たりが良く、冬でも床暖房することは少ない。利用者の習字や季節の貼り絵の作品を飾り楽しんでいる。 ・庭では利用者も一緒になって花やゴーヤ等の野菜を植えている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室を利用させていただくなど配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はゆっくり休めるよう配慮しております。	・泊りの部屋は洋室4室和室1室があり、できるだけ同じ部屋を使えるように配慮している。 ・ベッド・タンス・椅子は備え付けで、ラジオ・着替え等を持参している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室など判り易い表示など工夫しております。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名

ジャパンケア川崎はるひ野小規模多機能

作成日

平成25年1月24日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	会議は定期的開催されているが参加者を地域住民や事業の知見者、家族、利用者等へ広く広げて話し合いを行い助言や意見をもらってサービス向上へ活かしていくことが着たいされる	まず、利用者、家族へ周知を行い、参加者を増やす。地域住民や知見者にも同様とする。	参加しやすいように、避難訓練や、イベントに合わせて会議を開催し、参加していただく。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。